

TAPIO

タピオ・ヴィルカラ ———— 世界の果て
The Sculptor of *Ultima Thule*

北欧モダンデザインの巨匠
日本初回顧展

2025
4.5
SAT
—
6.15
SUN



会場: 東京ステーションギャラリー

休館日: 月曜日 [ただし 5/5、6/9 は開館]

開館時間: 10:00-18:00 (金曜日-20:00)

*入館は閉館 30 分前まで

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



WIRKKALA



TOKYO STATION CITY



JR東日本

《ボツレ》1967年 / 《ピアット・デ・イ・タピオ》1970年
Tapio Wirkkala Rii Foundation Collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art © Ari Karttunen / EMMA

タピオ・ヴィルカラ 世界の果て

彼が触れるとあらゆる素材が心ゆさぶるかたちになった

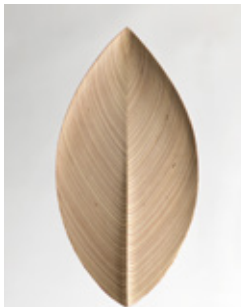
フィンランドのモダンデザイン界で圧倒的な存在感を放つタピオ・ヴィルカラ(1915-1985)の日本初回顧展です。1946年、ガラス製造会社イッタラのデザインコンペ優勝を機にヴィルカラは同社のデザイナーに起用され、約40年にわたり第一線で活躍しました。セラミック・アーティストの妻ルート・ブリュック同様、ラップランドの静寂をこよなく愛し、生命の神秘や大自然の躍動を着想源に、「ウルティマ・ツーレ」(ラテン語で「世界の最北」を表す言葉)をはじめとするガラスの名作を誕生させました。デザインの対象はガラスのほかに磁器、銀食器、宝飾品、照明、家具、紙幣、グラフィック、空間まで広くおよび、あらゆる素材に向き合い、触覚と視覚を鋭く働かせて生みだす洗練されたフォルムがヴィルカラの作品の見どころです。

また、神話をモチーフにしたガラスのオブジェや、自ら開発した積層合板を用いたオブジェにはプロダクト・デザイナーとは異なる表現者の顔ものぞかせます。

本展は、エスポー近代美術館、タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団およびコレクション・カッコネンから厳選したプロダクトやオブジェ約300点に加え、制作過程や背景を明かすドローイング(複写)や写真を展示します。生誕110年、没後40年を迎える2025年、繊細にしてダイナミックなヴィルカラの造形の魅力に迫ります。



《ウルティマ・ツーレ (ドリンキング・グラスのセット)》1968年
Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection /
EMMA – Espoo Museum of Modern Art. © Ari Karttunen / EMMA



《リーフ・ディッシュ》1950年代
Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection /
EMMA – Espoo Museum of Modern Art.
© Ari Karttunen / EMMA



《カルティオ》1956年
Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection /
EMMA – Espoo Museum of Modern Art.
© Liija Oey / EMMA

入館料： 一般 1,500 (1,300) 円
高校・大学生 1,300 (1,100) 円
中学生以下無料

- * () 内は前売料金 [3/1 - 4/4、オンラインチケットで販売]
- * 障がい者手帳等持参の方は200円引き (介添者1名は無料)
- * オンライン www.e-tix.jp/ejrcf_gallery/ (前売券・当日券) または当館1階入口(当日券)でチケット販売



オンラインチケット >

主催： 東京ステーションギャラリー [公益財団法人東日本鉄道文化財団]
企画協力： エスポー近代美術館、タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団、ブルーシープ
特別協力： イッタラ
後援： フィンランド大使館、フィンランドセンター
協賛： T&D 保険グループ

EMMA
Espoo Museum of Modern Art

TW
RB

Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation

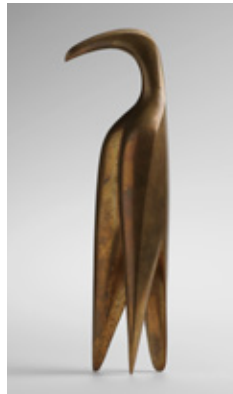
K

COLLECTION
KAKKONEN

IITALA



© Maaria Wirkkala. Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA – Espoo Museum of Modern Art



《リントゥ》1975年 Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection /
EMMA – Espoo Museum of Modern Art. © Ari Karttunen / EMMA

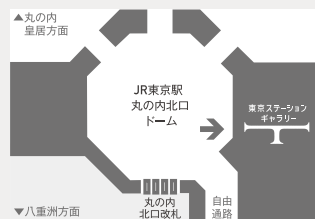


《カンタレリ》1946年
Collection Kakkonen. © Rauno Träskelin



© Pirjo Honkasalo. Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection /
EMMA – Espoo Museum of Modern Art

すべてタピオ・ヴィルカラ作
© KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2024 C4780



住所 | 東京都千代田区丸の内1-9-1
交通 | JR 東京駅 丸の内北口 改札前
Tel | 03-3212-2485
Web | <https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

TOKYO STATION GALLERY

次回展 | 藤田嗣治 絵画と写真 2025年7月5日(土) - 8月31日(日)

TAPIO

タピオ・ヴィルカラ ———— 世界の果て
The Sculptor of *Ultima Thule*

北欧モダンデザインの巨匠
日本初回顧展

2025
4.5
SAT
—
6.15
SUN



©Tapio Wirkkala, Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA – Espoo Museum of Modern Art

会場: 東京ステーションギャラリー

休館日: 月曜日 [ただし 5/5、6/9 は開館]

開館時間: 10:00–18:00 (金曜日–20:00)

*入館は閉館 30 分前まで

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



WIRKKALA

東京 TOKYO STATION CITY

JR
JR東日本

タピオ・ヴィルカラ 世界の果て

彼が触れるとあらゆる素材が心ゆさぶるかたちになった

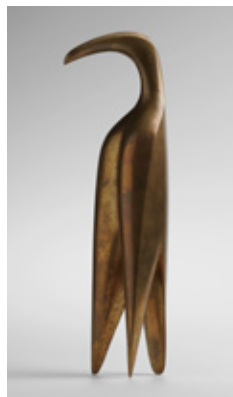
フィンランドのモダンデザイン界で圧倒的な存在感を放つタピオ・ヴィルカラ (1915-1985) の日本初回顧展です。1946年、ガラス製造会社イッタラのデザインコンペ優勝を機にヴィルカラは同社のデザイナーに起用され、約40年にわたり第一線で活躍しました。セラミック・アーティストの妻ルート・ブリュック同様、ラップランドの静寂をこよなく愛し、生命の神秘や大自然の躍動を着想源に、「ウルティマ・ツレー」(ラテン語で「世界の最北」を表す言葉) をはじめとするガラスの名作を誕生させました。デザインの対象はガラスのほかに磁器、銀食器、宝飾品、照明、家具、紙幣、グラフィック、空間まで広くおよび、あらゆる素材に向き合い、触覚と視覚を鋭く働かせて生み出す洗練されたフォルムがヴィルカラの作品の見どころです。

また、神話をモチーフにしたガラスのオブジェや、自ら開発した積層合板を用いたオブジェにはプロダクト・デザイナーとは異なる表現者の顔ものぞかせます。

本展は、エスポー近代美術館、タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団およびコレクション・カッコネンから厳選したプロダクトやオブジェ約300点に加え、制作過程や背景を明かすドローイング(複写)や写真を展示します。生誕110年、没後40年を迎える2025年、繊細にしてダイナミックなヴィルカラの造形の魅力に迫ります。



© Maaria Wirkkala. Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art



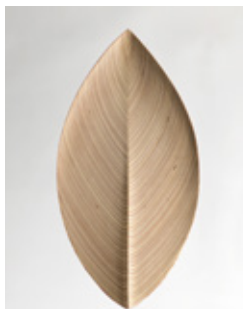
《リントウ》1975年 Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art. © Ari Karttunen / EMMA



《カンタレリ》1946年
Collection Kakkonen. © Rauno Träskelin



《ウルティマ・ツレー (ドリンキング・グラスのセット)》1968年
Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art. © Ari Karttunen / EMMA



《リーフ・ディッシュ》1950年代

Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art. © Ari Karttunen / EMMA



《ボッレ》1967年

Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art. © Ari Karttunen / EMMA



© Pirjo Honkasalo. Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art

入館料： 一般 1,500 (1,300) 円
高校・大学生 1,300 (1,100) 円
中学生以下無料

- * () 内は前売料金 [3/1 - 4/4、オンラインチケットで販売]
- * 障がい者手帳等持参の方は200円引き (介添者1名は無料)
- * オンライン www.e-tix.jp/ejrcf_gallery/ (前売券・当日券) または当館1階入口 (当日券) でチケット販売



オンラインチケット >

主催： 東京ステーションギャラリー [公益財団法人東日本鉄道文化財団]
企画協力： エスポー近代美術館、タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団、ブルーシーブ
特別協力： イッタラ
後援： フィンランド大使館、フィンランドセンター
協賛： T&D 保険グループ

EMMA
Espoo Museum of Modern Art

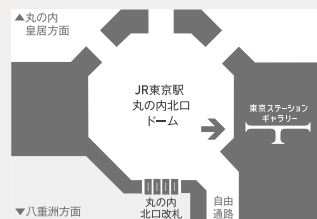


Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation



COLLECTION
KAKKONEN

IITALA



住所 | 東京都千代田区丸の内1-9-1
交通 | JR 東京駅 丸の内北口 改札前
Tel | 03-3212-2485
Web | <https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>



次回展 | 藤田嗣治 絵画と写真 2025年7月5日 (土) - 8月31日 (日)